

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第25週（令和7年6月16日～令和7年6月22日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

腸管出血性大腸菌感染症の報告が5件ありました。本疾患は、約3～8日の潜伏期間を経て、激しい腹痛をとともう頻回の水様便の後に血便になります。小児等は、けいれんなどにより重症化する場合があります。腸管出血性大腸菌は、菌に汚染された食品の摂取や、患者の便に含まれる菌が手指を介することで感染します。また、菌は主に食肉等に付着しており、加熱不十分な肉のほか、汚染された調理器具等を介しても感染するため、調理の際は中心部まで十分に加熱（75℃1分以上）するとともに、焼肉等の際には、生肉専用の箸やトングを使い、食べる箸と使い分けましょう。また、感染しても無症状の場合があります。知らずに他の人に感染させることがあるため、調理時、食事前、トイレやおむつ交換の後は、石けんと流水で手を洗う習慣をつけましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	19	341	233	6,028
腸管出血性大腸菌感染症	5	68	68	753
レジオネラ症	3	28	68	881
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	45	12	652
急性脳炎	1	18	4	274
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	41	23	743
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	16	15	377
水痘（入院例）	1	14	16	294
梅毒	7	367	199	6,288
百日咳	103	1,623	2,970	31,966

## ■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	139	1.14	1.85	3,455	0.90
インフルエンザ	47	0.39	0.84	1,141	0.30
急性呼吸器感染症	5,357	43.91	0.96	215,699	56.07
RSウイルス感染症	20	0.29	1.67	528	0.22
咽頭結膜熱	58	0.83	0.81	1,747	0.74
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	247	3.53	0.79	7,158	3.03
感染性胃腸炎	513	7.33	0.86	14,739	6.25
水痘	30	0.43	0.81	1,435	0.61
手足口病	35	0.50	1.35	600	0.25
伝染性紅斑（警報レベル）	227	3.24	1.43	4,780	2.03
突発性発しん	32	0.46	0.78	925	0.39
ヘルパンギーナ	395	5.64	2.53	566	0.24
流行性耳下腺炎	5	0.07	0.50	257	0.11
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	15	0.02
流行性角結膜炎	11	0.42	1.83	582	0.83
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	32	0.07
マイコプラズマ肺炎	5	0.33	0.63	252	0.52
クラミジア肺炎	0	0.00	-	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	0.25	43	0.09

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。